

# 令和6年（2024）11月 入域観光客数概況（速報）

81万800人  
対前年（R5）同月比 +12万2,600人、+17.8%  
～11月としては過去最高～

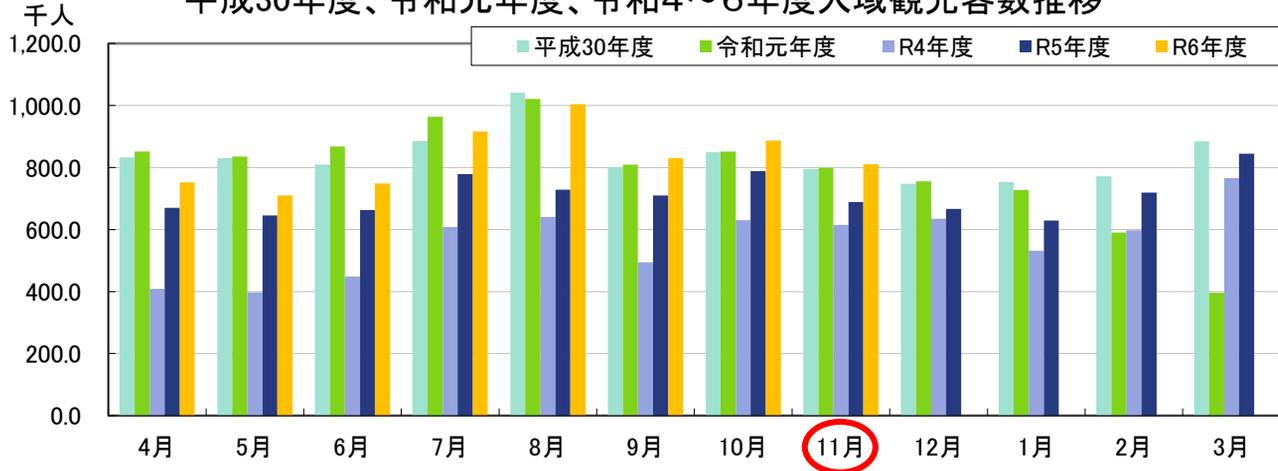
## 入域状況

入域観光客数（令和5年度との比較）

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
国内客	636,800人	597,100人	+39,700人	+6.6%	78.5%	600,100人
空路	632,400人	595,400人	+37,000人	+6.2%	78.0%	596,100人
海路	4,400人	1,700人	+2,700人	+158.8%	0.5%	4,000人
外国客	174,000人	91,100人	+82,900人	+91.0%	21.5%	199,100人
空路	117,900人	77,500人	+40,400人	+52.1%	14.5%	97,900人
海路	56,100人	13,600人	+42,500人	+312.5%	6.9%	101,200人
合計	810,800人	688,200人	+122,600人	+17.8%	100.0%	799,200人

※外国客には、海路における乗務員等15,500人を含む。

平成30年度、令和元年度、令和4～6年度入域観光客数推移



## 国内客 入域状況

11月は、修学旅行最盛期であること、航空便の輸送実績が全体的に好調であったことから前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客数は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

12月は、大阪(伊丹)ー那覇路線の増便、名古屋(中部)ー石垣・宮古路線の季節運航、東京(羽田)ー那覇路線の臨時便があるほか、国内発クルーズ船の寄港が複数回予定されていることなどから好調に推移すると見込まれる。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R6年度	R5年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
東京方面	310,000人	293,000人	+17,000人	+5.8%	48.7%	291,900人
関西方面	131,500人	124,100人	+7,400人	+6.0%	20.7%	116,900人
福岡方面	81,300人	79,500人	+1,800人	+2.3%	12.8%	78,400人
名古屋	55,100人	47,100人	+8,000人	+17.0%	8.7%	50,600人
その他	58,900人	53,400人	+5,500人	+10.3%	9.2%	62,300人
合計	636,800人	597,100人	+39,700人	+6.6%	100.0%	600,100人

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、同庁公表後の令和7年2月の公表を予定しています。